

☆☆課題1☆☆ 人にやさしいまち名古屋をめざそう！
～アジア競技大会・アジアパラ競技大会に向けたまちづくり～

<p>現状・背景</p>	<p>3年後の2026年に愛知・名古屋でアジア競技大会・アジアパラ競技大会が開催されます。大会には、アジア45の国と地域から多くの選手団が参加し、多くの観客も訪れます。</p> <p>皆さんはまちで助けを必要としている人を見かけた時、積極的に声掛けができているでしょうか？余計なお世話かもしれない、どんな対応をすれば良いかわからない等、不安があって行動に移せない人が多いかもしれません。</p> <p>名古屋を訪れる人が安心して過せるように、助け合いの意識を持ち、実際に声掛けができる人を増やしていくことが必要です。</p>
<p>想定される活動内容など</p>	<p>障害者団体、高齢者、海外から日本を訪れた人等への取材を通じ、助けを必要としている人への対応方法を学びます。</p>
<p>学生の参画により期待すること</p>	<p>実際に声掛けができる人を増やすための取り組みについて、学生ならではの提案を期待します。</p>
<p>担当部署</p>	<p>総務局アジア・アジアパラ競技大会推進室</p>



この課題に取り組むことで、今よりもっと過ごしやすいまちになるはず。一緒に効果的な方法を考えましょう！

☆☆課題2☆☆ 伝えたい！使ってほしい！安心・安全でおいしい
名古屋の水道水 ～安心・安全でおいしい水道水の魅力発信～

<p>現状・背景</p>	<p>名古屋市上下水道局では、安心・安全でおいしい水道水に関する事業を体系的に取りまとめ、積極的に広報する取組みを強化した計画「日本一安心・安全でおいしい水道水プロジェクト 2023」を策定し、着実に事業を実施しています。しかしながら、令和4年度の市政調査「名古屋の魅力・住みやすさについて」において、「名古屋の水道水がおいしい」がトップ5から第6位になるなど、一層のPRが求められています。</p> <p>令和6年度には水道事業が110周年を迎えることもあり、水道水を使う皆さんにより一層伝わる計画とし、効果的に発信していきたいと考えています。名古屋の水道水は、安心安全でおいしいことを知っていただくとともに、より身近に感じていただき、まちの魅力にもつなげていきたいと考えています。</p>
<p>想定される活動内容など</p>	<p>当局の水道事業と本計画の内容について学んだ上で、職員との意見交換や参加者同士のディスカッションを通して理解を深め、計画への提案に繋がります。</p>
<p>学生の参画により期待すること</p>	<p>学生目線で計画をチェックし、あらゆる世代、とりわけ若年層が興味を持ち、内容を容易に理解できる計画とするための提案や、計画を効果的に発信する手法に関するアイデアを期待しています。</p>
<p>担当部署</p>	<p>上下水道局経営企画課</p>



名古屋の水道水はおいしい！その魅力を幅広い世代へ伝えるためのアイデアを一緒に形にいきましょう！

☆☆課題3☆☆ 立ち止まってほしい。。。エスカレーター大作戦！
～エスカレーターの安全利用促進に向けた啓発～

<p>現状・背景</p>	<p>エスカレーターに乗っているときに、歩いてくる人とぶつかって危ない思いをしたことはありませんか？名古屋市では歩行者用に右側を開けることが慣習化していますが、エスカレーター上で歩くことは自身の転倒の原因になるだけでなく、接触により他の利用者を転倒させるおそれがあります。また、傷病や障害により右側の手すりにしかつかまれない方もいます。</p> <p>そこで名古屋市では、「エスカレーターは立ち止まって利用する」ことを義務付ける条例を制定しました。誰もが安心してエスカレーターを利用できるよう、ポジティブに意識や行動の変化を促すことが課題になっています。</p>
<p>想定される活動内容など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実態調査、意識調査等のフィールドワーク ・PR方法や対策のアイデアを考える企画ワークショップ ・名古屋市が行うキャンペーンなどの活動への参加
<p>学生の参画により期待すること</p>	<p>エスカレーターは立ち止まって利用することが“あたりまえ”になるよう、意識や行動を促す対策のアイデアの提案を期待しています。</p>
<p>担当部署</p>	<p>スポーツ市民局消費生活課</p>



安心して暮らすことができるまちナゴヤを目指して一緒に頑張りましょう！

☆☆課題4☆☆ 生涯学習センターを多様な世代がつながる拠点にしたい！
～生涯学習センターに若い世代を取り込む工夫～

<p>現状・背景</p>	<p>生涯学習センターの利用者割合は大半を高齢者が占めています。若年層の利用もありますが、高齢者に比べその割合は低くなっています。</p> <p>そんな生涯学習センターに多様な世代が集い、「人づくり」「つながりづくり」「地域づくり」の拠点となる場所になってほしいと思っています。</p> <p>若年層の利用促進に向けて、若年層が主体的に生涯学習センターを訪れるような工夫を、若い世代の声を聞きながら一緒に考えていきたいと思えます。</p>
<p>想定される活動内容など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・若い世代が思う「生涯学習センター」とは？（認知度調査、ディスカッションなど） ・実際に生涯学習センターの現状を見る・知る（フィールドワーク） ・実際に生涯学習センターで開催可能な企画検討（ワークショップなど）
<p>学生の参画により期待すること</p>	<p>若い世代のアイディアと視点で、生涯学習センターに若い世代を取り込み、いずれは、多様な世代がつながる場を作りたいと思います。</p>
<p>担当部署</p>	<p>教育委員会事務局生涯学習課</p>



若い世代のアイディアと視点で、生涯学習センターに若い世代を取り込んでいけるような工夫をともに考えていきましょう！